

常盤松御用邸の陸産等脚目甲殻類¹⁾

布村 昇²⁾

Noboru Nunomura²⁾: Terrestrial Isopod Crustaceans from the Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo, Japan

常陸宮正仁殿下がお住まいになっておられる東京都渋谷区東1丁目の常盤松御用邸の等脚目甲殻類の調査を行った。御用邸は周辺を大都会の都市的環境に囲まれているが、緑の豊かなお庭があり、良い自然を指標する種類の生息が期待された。この地で調査をする機会を得たので結果を記録するとともに、皇居の調査結果と比較し (Nunomura, 2000), 都区内の陸産甲殻類相研究の資料としたい。

出現種の分類学的扱いは、重要な文献を入れた。標本は原則として国立科学博物館に保管してある。

調査方法および調査日程

見つけ取り法と簡易シフティングを中心として1日2時間程度の調査を行った。一部のリッターは富山市科学文化センターに持ち帰り、微小種を抽出した。本報告には著者自身が採集した標本だけでなく、神奈川県立生命の星地球博物館の青木淳一博士採集の資料を加えた。

2003年3月31日。調査場所：御用邸の南東，御用邸の南，御用邸の南西，御用邸の西，御用邸の西北木鉢。調査者：布村 昇，武田正倫，野村周平。

2003年5月20日。調査場所：御用邸の北側クスノキ，御用邸の南東竹林，御用邸の南東，御用邸の南，御用邸の南西，御用邸の西，御用邸の西北植木鉢。調査者：布村 昇，青木淳一，武田正倫。

Order Isopoda 等脚目 (ワラジムシ目)
Family Trichoniscidae ナガワラジムシ科

Haplophthalmus danicus Budde-Lund, 1885 ナガワラジムシ

Haplophthalmus danicus Budde-Lund, 1885, p.20; Nunomura, 1983, pp. 63–65, fig. 27.

[調査標本] 5♂♂57♀♀，御用邸の南朽木，May 20, 2003, 布村 昇；21♀♀ (うち5♀♀抱卵)，御用邸の東南竹林，May 20, 2003, 布村 昇；5♀♀，西北植木鉢下，May 20, 2003；8♀♀，御用邸の南，Mar. 31, 2003, 布村 昇；御用邸の南東，2♀♀，Mar. 31, 2003, 布村 昇；5♂♂87♀♀，御用邸の入り口クスノキ，May 20, 2003, 布村 昇。

Family Trachelipidae トウヨウワラジムシ科

Lucasioides tokyoensis Nunomura, 2000 トウキョウハヤシワラジムシ

Lucasioides tokyoensis Nunomura, 2000, pp. 86–89, fig. 4.

[調査標本] 2♂♂，御用邸の南側リッター中，Mar. 31, 2003, 布村 昇；1♂♂♀♀，御用邸の南側朽木下，Mar. 31, 2003, 布村 昇；1♀，御用邸の西側植木鉢，May 20, 2003, 布村 昇。

¹⁾ 富山市科学文化センター研究業績第309号。

²⁾ 富山市科学文化センター 富山市西中野町1丁目

Toyama Science Museum, 1–8–31 Nishinakano-machi, Toyama-shi, 939–8084 Japan
E-mail: nunomura@tsm.toyama.toyama.jp

Mongoloniscus maculatus (Iwamoto, 1943) フイリワラジムシ

Porcellio maculatus Iwamoto, 1943, pp. 967–968, fig. 13.

Nagurus maculatus: Nunomura, 1987, p. 26, fig. 111.

Mongoloniscus maculatus: Nunomura, 1999, p. 88.

[調査標本] 1♂2♀♀, 御用邸の西北植木鉢下, May 20, 2003, 布村 昇; 10♀♀, 御用邸の南東竹林リター, May 20, 2003, 布村 昇; 2♂♂2♀♀, 御用邸の正門右ケヤキ・サクラ林リター, May 20, 2003, 青木淳一.

Mongoloniscus katakurai (Nunomura, 1987) コガタハヤシワラジムシ

Nagurus katakurai Nunomura, 1987, pp. 28–30, fig. 112.

Mongoloniscus katakurai: Nunomura, 1999, p. 88.

[調査標本] 1♂4♀♀, 御用邸の南東リッター, Mar. 31, 2003, 布村 昇; 6♀♀, 御用邸の南東, May 20, 2003, 布村 昇; 5♀♀, 御用邸の南西カエデ類, Mar. 31, 2003, 布村 昇; 3♀♀, 御用邸の南側リッター, Mar. 31, 2003, 布村 昇; 3♂♂10♀♀, 御用邸の入り口付近クスノキ, May 20, 2003, 布村 昇.

Family Porcellionidae ワラジムシ科

Porcellionides pruinosus (Blandt, 1833) ホソワラジムシ

Porcellio pruinosus Brandt, 1833, p. 181.

Metoponorsus (Metoponorsus) pruinosus: Vandel, 1966, pp. 618–623, figs. 306–307.

Porcellionides pruinosus: Nunomura, 1987, pp. 73–76, fig. 135.

[調査標本] 1♀, 御用邸の南, 石の裏側, Mar. 31, 2003, 布村 昇.

Family Armadillidiidae オカダンゴムシ科

Armadillidium vulgare Latreille, 1804 オカダンゴムシ

Armadillidium vulgare Latreille, 1804, p. 48; Nunomura, 1990, pp. 3–5, fig. 137.

[調査標本] 御用邸の南東, 1♂, Mar. 31, 2003, 布村 昇; 御用邸の南, 1♂6♀♀, Mar. 31, 2003, 布村 昇; 御用邸の西植木鉢裏, 1♀, Mar. 31, 2003, 布村 昇; 御用邸の入り口付近のクスノキ, 3♂♂52♀♀, May 5, 2003, 布村 昇; 御用邸の西北植木鉢の裏, 1♀, May 5, 2003, 布村 昇; 御用邸の東竹林, 1♀, May 5, 2003, 布村 昇; 御用邸の通用門左クスノキ林, 9♀♀, May 5, 2003, 青木淳一; 2♀♀, May 5, 2003, 青木淳一.

考 察

調査の結果, 陸産等脚目甲殻類は4科5属6種が確認された(図1). 比較的良好な自然環境を指標すると考えられるナガワラジムシ(確認個体の57%)とトウヨウワラジムシ科2種(確認個体の12%)とが多く見られた. 乾燥した都市的環境を示す種については, オカダンゴムシ(28%)がかなり多産したものの, ワラジムシの確認はできなかった. 大規模の鬱蒼とした林に多いニホンヒメフナムシやトウキョウウシビロダンゴムシや端脚目ハマトビムシ科もまったく確認できなかった.

なおフイリワラジムシとコガタハヤシワラジムシの2種の出現が確認されたが, これらはオスの交尾器, 腹肢の形態などの形質などが主要な識別点で, 互いに近縁である. とともに森林の林縁や, 人間営為の影響のある林などに見られる種類と考えられている.

都心の緑の豊かな皇居での調査(Nunomura, 2000)と比較して種類数は少ない(表1). これは, 皇居に比して面積が小さいことによって, もっとも高い自然度の森林や湿潤な場所を指標すると考えられる種類が欠如するとともに, 環境の多様性が低いことによるためと思われる.

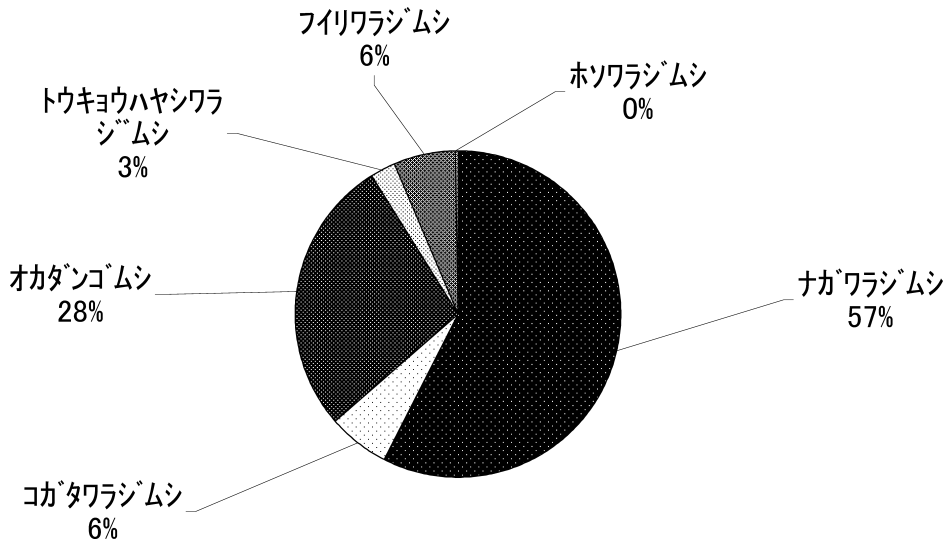


図1. 常盤松御用邸における陸産等脚目甲殻類個体数の構成比.

表1. 常盤松御用邸と皇居 (Nunomura, 2000) における陸産等脚目甲殻類の種類数.

	皇居	常盤松御用邸	常盤松御用邸で優勢な種
フナムシ科	1	0	
ナガラワジムシ科	1	1	ナガラワジムシ
クキワラジムシ科	1	0	
ヒメワラジムシ科	1	0	
ホンワラジムシ科	1	0	
トウヨウワラジムシ科	7	3	コガタワラジムシ
コシビロダンゴムシ科	1	0	
ワラジムシ科	2	1	
オカダンゴムシ科	1	1	オカダンゴムシ
合計	16	6	

謝 辞

本調査に際して多大な便宜をお図りいただき、かつご親切なお励しまをいただいた常陸宮正仁殿下に厚く感謝申し上げます。また、調査に際し、ご援助いただいた宮内庁職員と国立科学博物館動物研究部の方がた、神奈川県立生命の星地球博物館の青木淳一博士に感謝申し上げます。

Summary

Six species of the terrestrial isopod crustaceans were collected at the garden of the Tokiwamatsu Imperial Villa in 2003. The most dominant species were *Haplophthamus danicus* Budde-Lund, 1885 and *Mongoloniscus katakurai* (Nunomura, 1987). These species are considered to indicate a relatively well preserved nature in the city area of Tokyo.

引用文献

- Brandt, J. F., 1833. Conspectus Monographiae Crustaceorum Oniscodurum Latreilli. *Bull. Soc. imp. Nat. Moscou*, **6**: 171–193.
- Budde-Lund, G., 1885. Crustacea Isopoda Terrestira, per familias et genera et species descripta Haunia. 319pp. 岩本嘉兵衛. 1943. 日本産陸棲等脚類について. *植物及動物*, **11**(12): 17–32.
- Nunomura, N., 1987. Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan. Taxonomy of the families Trachelipidae and Porcellionidae. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (11): 1–76.
- Nunomura, N., 2000. Terrestrial isopod and amphipod crustaceans from the Imperial Palace, Tokyo. *Mem. natn. Sci. Mus., Tokyo*, (35): 79–97.
- 布村 昇, 1999. 日本産陸生等脚目 (Isopoda) の分類学的位置の変更について. *Edaphologia*, (62): 81–91.
- 布村 昇, 2005. 赤坂御用地の陸産等脚目および端脚目甲殻類. *国立科博専報*, (39): 491–494.
- Vandel, A., 1962. Isopodes terrestres. *Faune de France*, **66**: pp. 1–931.